

魅力ある高校生にインタビュー

明日へ ジャンプ

No.175

苦しい時も懸命に練習を重ね
目指すはインターハイ出場

伊勢崎清明高等学校 3年 持田 美海 さん



伊勢崎清明高校に通う持田さんは、空手道部の部長として日々鍛錬を重ねています。そんな持田さんに清明高校空手道部の魅力を聞きました。「清明高校空手道部は、雰囲気が高く、みんなで高め合いながら練習しています。初心者だった部員も練習を重ねることで、経験者と同じくらいの強さになることができます」仲間と切磋琢磨し実力を磨く持田さん。これまでに出場した大会の中で最も印象に残っているのは、1年生の時に出場した群馬県高等学校空手道新人大会だと言います。「新人大会は1・2年生が出場する大会で、自分より学年が上の人と戦うため不安でしたが。そんな中、優勝することができたので、とてもうれしく、印象に残っています」1年生の頃から数々の大会で輝かしい成績を収める持田さんですが、時にはスランプに陥ることもあるそうです。「調子が良い時は、頭を使い、いろいろな技を使うことができますが、調子が悪くなると同じ技しか出せなくなってしまうんです。そんな時は調子が良かった時の動画や、毎日書

いている『部活ノート』を見返し、スランプを抜け出すようにしています」

苦しい時もひたむきに練習に励む持田さん。4月に出場した群馬県空手道選手権大会でも見事な結果を残しました。「この大会は有段者のみが出場できるため、対戦した相手は強い選手ばかりでしたが、一人一人の相手に集中し、優勝することができました」

県内外のさまざまな大会で結果を残し続ける持田さんですが、目標はさらに先にあります。

「目標はインターハイへの出場です。入学時からの目標でもあるため、予選会で優勝し、出場を決めたいです」

プロフィール

もちだ・みみ

小学1年生の時に空手を始め、中学生の時にも素晴らしい結果を残した。部活動が休みの日も家族を相手に練習するほど空手に熱中している。将来は、空手で培った経験を生かし、スポーツに関係する仕事に就きたいと話す。

